

機関名: (地独)北海道立総合研究機構水産研究本部

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 4月～6月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: (地独)青森県産業技術センター水産総合研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 4月～6月	●青森県日本海沿岸の定置・底建網によるブリの4～6月累積漁獲量は、過去5年平均の2.9倍と好調であった。	●対馬暖流の最高水温は50m層及び100m層ではなほた高めからかなり高めが続いた。 ●対馬暖流の流幅はなほ広いため傾向が続いた。流幅をとりきれないため、流量が算出できないほどであった。	●平成28年5月16日～20日に陸奥湾水産協議会を対象に養殖ホタテガイ1歳貝の成育状況を調査した結果、殻長、全重量、軟体部重量ともに昭和60年以降2番目に高い値であった。	特になし

機関名: 秋田県水産振興センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 4月～6月	特になし	●オオサルバの来遊量が多くなり、水深200m以上の底びき漁場では6月上旬から下旬にかけて入網数が著しく増加した。水深100m以下の刺網漁業でも大量の目掛が報告された。 6月に確認されたのは主に連鎖個体であり、単独個体は少なかった。 ●6月の表層水温は1定点を除き「かなり高い」または「はなはだ高い」であった。ただし、同月の水深50m、100m層には「かなり低い」水温域が存在した。	特になし	特になし

機関名: 山形県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 4月～6月	●平成28年1月～6月のサクラマスの漁獲量が、6.2トン(過去5年平均比153%、前年比345%)で、比較的好漁であった。	特になし	特になし	特になし

機関名: 新潟県水産海洋研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 4月～6月	●4月23日～28日にかけて、佐渡両津湾の大型定置網でマフガが大量に漁獲され、佐渡水産物地方卸売市場に水揚げされた。24日、25日は特に多く、それぞれ25トン、22トンの水揚げであった。4月の水揚げ量は78トンで前年比5,200%であった。	●新潟県では6月以降、県内のほぼ全域でサルバが確認されており、中下越では50～90m水深帯の入網が多く、板曳網等で操業に支障をきたしていたが、7月に入って減少傾向にある。 ●サルバと同時期に県内のほぼ全域でミズクラゲが大量発生し、板曳網、こち網、刺網および定置網に多数入網して漁具が破損する等の被害が発生している。ミズクラゲは7月現在でも大量に入網しており、操業に支障をきたしている。	特になし	特になし

機関名: 富山県農林水産総合技術センター水産研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 4月～6月	●5月下旬頃から6月下旬にかけて、富山湾の湾奥を中心に、大量のミズクラゲの来遊(出現)が見られた。	●4月上旬に観測した富山湾の表層(0～50m)の水温は、はなはだ高い(約20年以上に1回の出現確率)と評価された。	特になし	特になし

機関名: 石川県水産総合センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 4月～6月	特になし	●サルバ等の発生 ・5月下旬に奥津協美川支所のシラスびき漁でサルバらしきものが入網し漁に影響が出た。 ・6月27日には奥津協輪島支所の刺網漁業より猿山沖14マイル付近でサルバが入網し漁に影響が出た。また、同時期・同海域においては底びき網でもサルバの入網、漁への影響が確認されている。 ・写真を日水研で分析してもらったところ暖流系のモモイロサルバと思われるとのことであった。 ・その後、底びき漁業者で確認したところ、外浦海域のホッコクアカエビ漁場(大和堆を含む)各所において入網し影響が出ており、対策に苦慮している。併せて県下沿岸各所よりミズクラゲの大量発生の情報も待っている。	特になし	特になし

機関名: 福井県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 4月～6月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 京都府農林水産技術センター漁業センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 4月～6月	●これまで本府ではほとんど漁獲のなかったニンシが、底曳網で、4月に1.6トン、5月に0.5トン漁獲された。なお、昨年の漁獲実績は、4月に底曳網で4kg、12月に定置網で10kg。	●京都府沿岸の水温が平年に比べて高かった(4月: やや高め、5～6月: かなり高め)。	特になし	特になし

機関名: 兵庫県農林水産技術センター但馬水産技術センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 4月～6月	●スルメイカ漁場一斉調査時に、イカ釣機にてハタハタ釣獲(6/28、St.10(38°20'N、134°20'E)、体長149mm♂1尾)。	特になし	特になし	特になし

機関名: 鳥取県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 4月～6月	【境港旋網】 ・マイワシ 5月下旬に1,000トンを超える水揚げが4回あり、同月の水揚げ量は8,500トン。5月単月としては2012年以降で最も多い水揚げとなった。また、例年、同時期にあまり見られない小型魚(1歳)の個体が多く水揚げされた。 ・クロマダロ(まぐろ・よこわ銘柄) まぐろは5月30日に初水揚げがあり、体重30kg、70kg、100～110kgサイズ主体に6月末までの水揚げ量は、811t(2013年740t、2014年1,238t、2015年872t。)と好漁ペースで水揚げされた。2015年中に水揚げのなかったよこわは6月に33t水揚げされた。	特になし	特になし	特になし

機関名: 鳥取県豊後漁業センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 4月～6月	特になし	●4～6月の海水温が、ここ10年の平均海水温より0.4～1.1℃高めに推移している。	特になし	特になし

機関名: 鳥取県水産技術センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 4月～6月	特になし	●流れ藻の大量発生 4月下旬、浜田沖20マイル水深約130mの位置で流れ藻(ホンダワラ類)が底曳網に大量入網した。西に行くほど網への入網が多いと聞かれ、試験船ではN36°付近で浮いている状態を確認しており、沖側では浮いているものが多い様子。(昨年度も漁業者からの情報があり、流れ藻の主体はアカモクであった。)また、5月中旬には隠岐島の西岸に流れ藻が大量に漂着した。 ●サルバ類の発生 6月下旬に隠岐島の定置トビウオ機船曳き網にサルバ(種類不明)が多数入網したが、7月には確認されなくなった。	特になし	特になし

機関名: 山口県水産研究センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 4月～6月	●マイワシ(当歳魚)のまとまった水揚げがあった(仙崎・湊市場4～6月漁獲量190トン、前年比435倍、平年比46倍)。	●6月2日から6月29日かけ数市沿岸でヘテロシグマ・アカシオによる赤潮が発生した。漁業被害等は確認されず。	特になし	特になし